



Husqvarna®



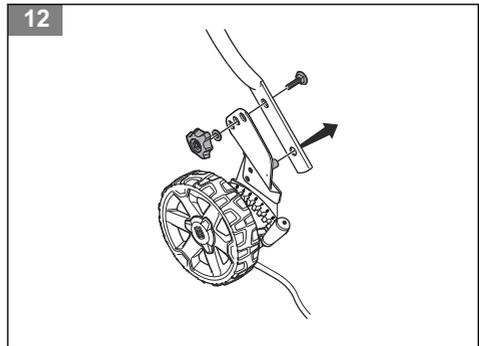
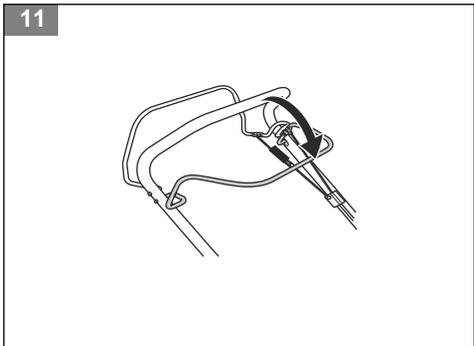
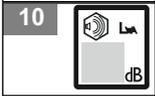
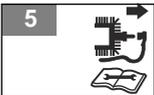
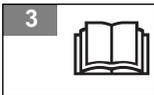
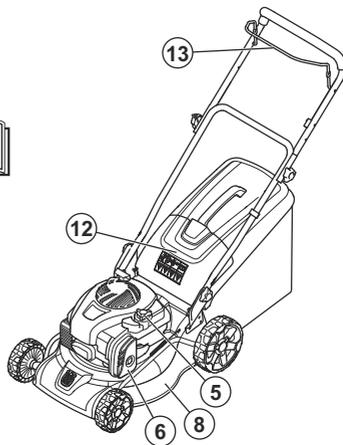
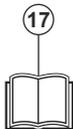
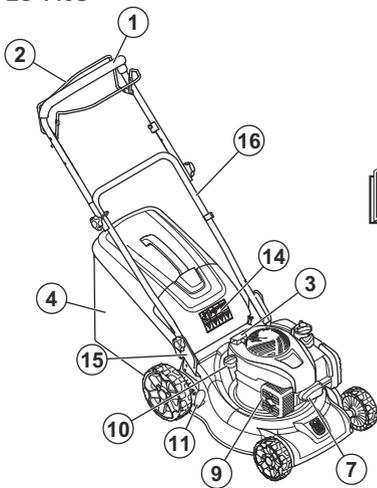
LC 140, LC 140S



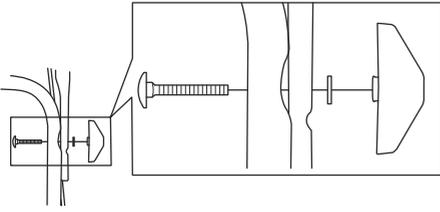
EN	Operator's manual	6-15
BG	Ръководство за експлоатация	16-27
CS	Návod k použití	28-37
DA	Brugsanvisning	38-48
DE	Bedienungsanweisung	49-59
EL	Οδηγίες χρήσης	60-71
ES	Manual de usuario	72-82
ET	Kasutusjuhend	83-92
FI	Käyttöohje	93-102
FR	Manuel d'utilisation	103-113
HR	Priručnik za korištenje	114-123
HU	Használati utasítás	124-134
IT	Manuale dell'operatore	135-145
JA	取扱説明書	146-156
LT	Operatoriaus vadovas	157-166
LV	Lietošanas pamācība	167-177
NL	Gebruiksaanwijzing	178-188
NO	Bruksanvisning	189-198
PL	Instrukcja obsługi	199-209
PT	Manual do utilizador	210-220
PT-BR	Manual do operador	221-231
RO	Instrucțiuni de utilizare	232-242
RU	Руководство по эксплуатации	243-254
SK	Návod na obsluhu	255-265
SL	Navodila za uporabo	266-275
SR	Priručnik za rukovaoca	276-285
SV	Bruksanvisning	286-295
TR	Kullanım kılavuzu	296-305
UK	Посібник користувача	306-316

LC 140S

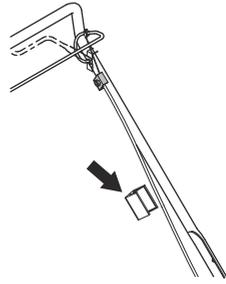
LC 140



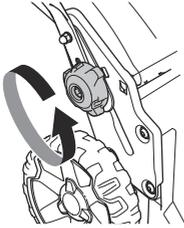
13



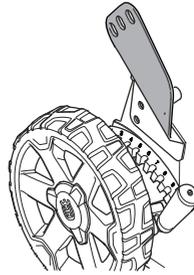
14



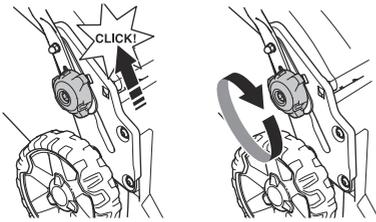
15



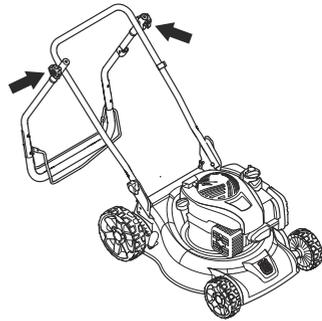
16



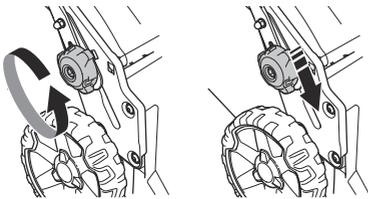
17



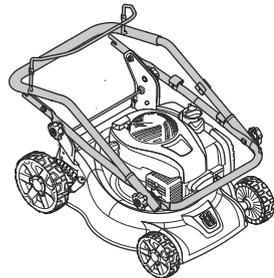
18



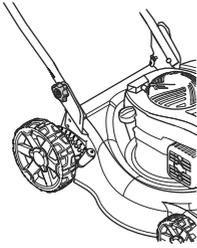
19



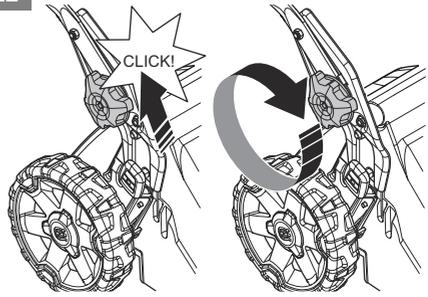
20



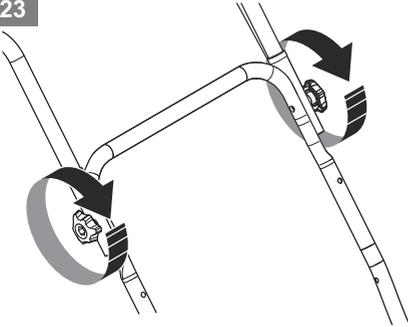
21



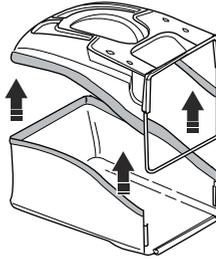
22



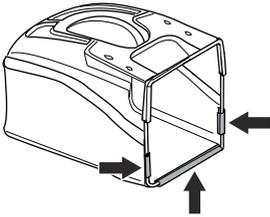
23



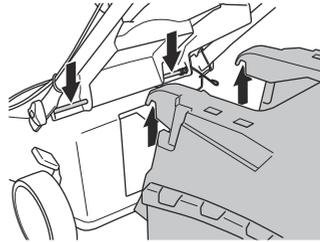
24



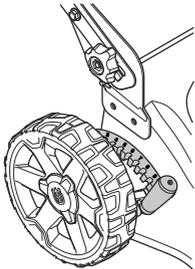
25



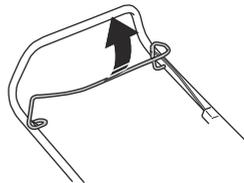
26



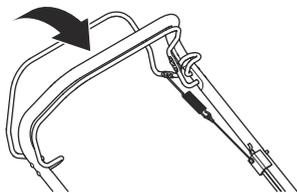
27



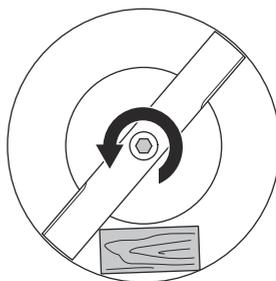
28



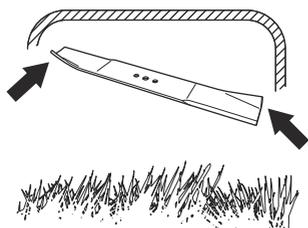
29



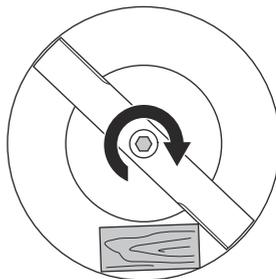
30



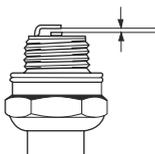
31



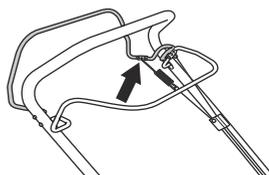
32



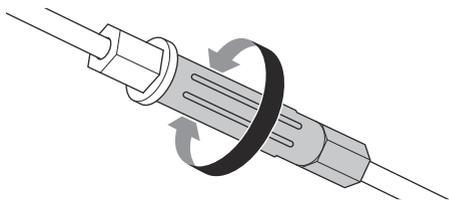
33



34



35



目次

はじめに.....	146	メンテナンス.....	151
安全性.....	147	搬送、保管、廃棄.....	153
組立.....	149	主要諸元.....	154
操作.....	150	EC 適合性宣言.....	156

はじめに

製品の説明

本製品は、手押し式ロータリー芝刈機です。芝はグラスキャッチャーに収集されます。芝を後方排出方式にするには、グラスキャッチャーを取り外してください。

製品の概要

(図 1)

1. ハンドル / ハンドルバー
2. ドライブベイル (LC 140S)
3. スターターロープハンドル
4. グラスキャッチャー
5. 燃料タンク
6. エアフィルター
7. スパークプラグ
8. カuttingカバー
9. マフラー
10. 燃料タンクキャップ
11. 刈高調整レバー
12. 後部カバー
13. エンジンブレーキハンドル
14. シンボルマーク
15. 下部ハンドルアセンブリ
16. 下部ハンドル
17. 取扱説明書

製品に表記されるシンボルマーク

(図 2) 警告：不注意な取り扱いや誤った取り扱いにより作業員や周囲の人が負傷したり、死亡したりするおそれがあります。

(図 3) この取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握したうえで、使用してください。

(図 4) 作業領域と人や動物の間に安全な距離を保ってください。

(図 5) 修理やメンテナンスを行う前に、エンジンを切り、イグニッションケーブルを外してください。

(図 6) 飛び散ったり跳ね返ってくる物体に気をつけてください。

用途

この製品は、ご家庭の庭の芝刈りに使用してください。他の作業に本製品を使用しないでください。

(図 7) 警告：回転ブレード。手足を近づけないでください。

(図 8) 警告：回転部品。手足を近づけないでください。

(図 9) この製品は EC 規格適合製品です。

(図 10) 環境に対する騒音レベルは EC 指令に準拠しています。本製品の排出レベルは、**主要諸元 154** ページとステッカーに記載されています。

注記：本製品に付いている他のシンボル / 銘板は、他の販売地域での認定条件を示しています。

EU V



警告：エンジンを改造すると、この製品の EC 型式認証が無効になります。

製造物責任

製造物責任法に基づき、当社は、次の場合については本製品を原因とする損傷について責任を負いません。

- 本製品が誤って修理された場合。
- メーカーによるものではない部品、またはメーカーの認可していない部品を使用して本製品を修理した場合。
- メーカーによるものではないアクセサリ、またはメーカーの認可していないアクセサリを本製品に使用した場合。
- 認定サービスセンターまたは認定機関で本製品が修理されていない場合。

安全性

安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするが、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

一般的な安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品は、慎重かつ適切に使用しないと、危険な道具となります。安全注意事項に従わないと、負傷や死亡事故が発生するおそれがあります。
- 本製品では、運転中に電磁場が発生します。この電磁場は、ある条件下でアクティブ、またはパッシブな医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻な傷害または致命傷の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している方は、本製品を使用する前に主治医および医療用インプラントの製造元に相談することをお勧めします。
- 常に常識に基づいて注意して使用してください。特殊な状況での本製品の操作方法がわからない場合、作業を続ける前に本製品を停止して、Husqvarna 販売店までご連絡ください。
- 第三者やその所有物が事故に関係する場合、その責任は、作業者にあることを忘れないでください。
- 本製品は清潔に保ってください。標識やラベルがはっきりと読み取れるようにしてください。
- 取扱説明書を読んで内容を理解した人へのみ本製品を使用させてください。
- 子供に本製品を操作させないでください。
- 指示を理解していない人に本製品を操作させないでください。
- 身体的、精神的にハンテを負った人が本製品を使用する場合は常に監視してください。責任を有する大人が常にそばにいる必要があります。
- 疲労時、疾病時、アルコールや医薬品の影響が残っているときは、本製品を使用しないでください。視力、注意力、動作、判断力に悪影響を与えます。
- 本製品に不具合がある場合は使用しないでください。

- 本製品を改造しないでください。また、本製品が改造されている可能性がある場合は使用しないでください。

作業エリアの安全



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品を使用する前に、大小の枝や石などの物体を作業範囲から取り除いてください。
- カutting装置にぶつかった物体がはじかれて、人が怪我をしたり物が損傷したりするおそれがあります。本製品から周囲の人や動物との安全な距離を保ってください。
- 霧、雨、強風、極寒、雷の危険などの悪天候下で本製品を使用しないでください。悪天候下や、湿気のある場所、濡れた場所で本製品を使用すると疲労します。悪天候の場合、路面が滑りやすくなるなど、危険な状態を引き起こすことがあります。
- 製品の安全な操作を妨げる可能性がある人、物、状況に注意してください。
- 根、石、小枝、窪み、溝などの障害物に注意してください。長い芝の中に障害物が隠れていることがあります。
- 斜面で芝を刈ることは危険を伴います。15度を超える斜面で、本製品を使用しないでください。
- 斜面を横切りながら本製品を操作してください。上下に移動しないでください。
- 陰になった隅や視界を遮るものに近づくときは気を付けてください。

安全な作業



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品は芝生刈りにのみ使用してください。他の作業には使用できません。
- プロテクティブ装具を使用してください。使用者の身体保護具 148 ページを参照してください。
- 閉鎖された空間または可燃性物質の近くでエンジンを始動しないでください。エンジンの排気ガスは高温で火花を含むことがあり、火災発生の原因となります。
- ブレードやすべてのカバーを適切に装着してから本製品を始動させてください。ブレードが適切に装着されていないと、緩んで、怪我をすることがあります。
- ブレードが石や根などの物体にぶつからないように気を付けてください。ブレードが損傷したり、エンジンシャフトが曲がったりするおそれがあります。シャフトが曲がると振動が激しくなり、ブレードが緩む危険性が非常に高くなります。

- ブレードが物に当たったり振動が発生したりした場合は、すぐに本製品を停止してください。スパークプラグからイグニッションケーブルを外してください。製品に損傷がないか点検します。損傷部を修復するか、正規サービス代理店に修理を依頼してください。
- エンジンの始動時は、エンジンブレーキハンドルをハンドルに完全に固定しないでください。
- 製品を平らで安定した面に置き、始動します。ブレードが地面やその他の物に触れないよう、注意してください。
- 本製品の操作時は、必ず製品の後ろに立ってください。
- 製品を操作するときは、すべてのホイールを地面につけ、両手でハンドルをつかんで操作してください。回転しているブレードに手や足を近づけないでください。
- エンジンの作動中は、本製品を傾けないでください。
- 製品を後ろに引くときは注意してください。
- エンジンの作動中は、本製品を持ち上げないでください。エンジンを持ち上げる必要がある場合は、最初にエンジンを停止し、スパークプラグからイグニッションケーブルを取り外してください。
- 本製品を操作するときは、後ろ向きに歩かないでください。
- 砂利、石、アスファルトなど、芝面以外の領域を横切るときは、エンジンを停止してください。
- エンジンの作動中は、本製品を操作しながら走らないでください。製品を操作するときは、必ず歩いてください。
- 刈高を変更する場合は、まずエンジンを停止してください。エンジンが作動している状態での調整は決して行わないでください。
- エンジンが作動している状態で、見えない場所に製品を放置しないでください。エンジンを停止し、カッティング装置が回転していないことを確認してください。

操作のための安全注意事項

使用者の身体保護具



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 身体保護具で怪我を完全に防止できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。適切な保護具の選択については、販売店にご相談ください。
- 丈夫で滑りくいブーツや靴を着用してください。開放部の多い靴を使用したり、裸足で作業を行ったりしないでください。
- 厚手の長ズボンを着用してください。
- カッティング装置の取り付け、点検、清掃を行う場合は、必要に応じて保護グローブを着用してください。

本製品の安全装置



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示を読んでください。

- 安全装置に欠陥のある製品は使用しないでください。
- 安全装置は定期的に点検してください。安全装置に欠陥がある場合は、Husqvarna サービス代理店にご相談ください。

カッティングカバーの点検方法

カッティングカバーは、本製品の振動を抑え、ブレードで負傷する危険性を低減します。

- カッティングカバーを点検して、亀裂などの損傷がないことを確認してください。

エンジンブレーキハンドル

エンジンブレーキハンドルは、エンジンを停止させるためのものです。エンジンブレーキハンドルを放すと、エンジンが停止します。

エンジンブレーキを点検するには、エンジンを始動してから、エンジンブレーキハンドルを放します。エンジンが3秒で停止しない場合は、Husqvarna の認証サービス代理店にエンジンブレーキの調整を依頼してください。

(図 11)

マフラー

マフラーは騒音レベルを最小限に抑え、排気ガスを作業者から遠ざける働きをします。

マフラーがない場合や損傷がある場合は、製品を使用しないでください。マフラーに損傷があると、騒音レベルと火災発生の危険が増加します。



注意： 使用中、使用直後およびエンジンがアイドリング速度で稼働しているときはマフラーが高温になります。可燃性の材料やガスの近くでは火災に注意してください。

燃料の安全について



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示を読んでください。

- 本製品に燃料やエンジンオイルが付着している場合は始動しないでください。不要な燃料やオイルを本製品から除去し、乾かしてください。
- 衣服にガソリンをこぼした場合は、すぐに着替えてください。
- 燃料が身体に付着しないようにしてください。負傷する場合があります。身体に燃料が付着した場合は、石鹸と水を使用して燃料を洗い流してください。

- エンジンに漏れがある場合は、本製品を始動しないでください。エンジンに漏れがないかどうかは定期的に点検してください。
- 燃料に注意してください。燃料は可燃性で蒸気には爆発性があるため、負傷や死亡に至ることがあります。
- 燃料の蒸気を吸引しないでください。負傷の原因になることがあります。十分な空気の流れを確保してください。
- 燃料やエンジンのそばで喫煙しないでください。
- 燃料やエンジンのそばに温かい物を置かないでください。
- エンジンの稼働中は、燃料を補充しないでください。
- 燃料の補充は、エンジンが冷えてからにしてください。
- 燃料を補充する前に、燃料タンクのキャップを開けて慎重に圧力を解放してください。
- 屋内でエンジンに燃料を補充しないでください。十分な空気の流れがないと、窒息や一酸化炭素中毒によって負傷や死亡に至ることがあります。
- 燃料タンクキャップを完全に締め込んでください。燃料タンクキャップが締め込まれていない場合、火災発生の危険があります。
- 始動する前に燃料を入れた場所から本製品を 3 m (10 フィート) 以上移動させてください。
- 燃料タンクに燃料を入れすぎないでください。
- エンジンの排気ガスには、無臭で有毒な危険性の高いガスである一酸化炭素が含まれます。屋内または閉鎖された空間でエンジンを始動しないでください。
- 本製品のメンテナンスを実施する前に、エンジンを停止し、スパークプラグからイグニッションケーブルを取り外してください。
- カutting装置のメンテナンスを実施するときは、保護グローブを使用してください。ブレードは非常に鋭いため、切り傷を負う危険性があります。
- メーカーが認可していないアクセサリーの使用や本製品の改造は、重傷や死亡事故の原因となるおそれがあります。本製品を改造しないでください。必ず、メーカー認可済みのアクセサリーを使用してください。
- メンテナンスが正しく定期的を実施されていない場合は、負傷や本製品の損傷の危険性が高まります。
- 取扱説明書に記載されているメンテナンスのみを実施してください。他のすべてのサービス作業は、Husqvarna の認証サービス代理店が実施する必要があります。
- Husqvarna の認証サービス代理店で定期的に本製品のサービス作業を実施する必要があります。
- 損傷、摩耗、破損した部品は交換してください。

メンテナンスのための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

組立

ハンドルの組み立て方法

- 下部ハンドルの下部にあるピンを、図のように穴に入れます。ネジ穴の位置を合わせ、ネジ、ワッシャー、ノブを取り付けます。ノブを完全に締め込みます。(図 12)
- ハンドルバーの穴を下部ハンドルの穴に合わせ、ネジ、ワッシャー、ノブを取り付けます。右側には、スターターロープのループも取り付けます。ノブを完全に締め込みます。(図 13)
- 付属のケーブルホルダーを使用して、ケーブルをハンドルに取り付けます。(図 14)

注記：ケーブルの張力が高すぎないようにしてください。

ハンドルの高さの調節方法

- 下側ノブを緩めます。(図 15)
- ノブ、ワッシャー、ネジを取り外します。

3. ハンドルは 2 種類の高さに設定できます。ハンドルをお好みの高さに調節して、いずれかの穴に固定ネジで留め付けます。(図 16)
4. ねじおよびノブを取り付けます。
5. ノブを、カチッと音がして止まるまでハンドル方向にスライドさせます。ノブを適切に締め込みます。(図 17)

製品を搬送位置にセットする方法

1. グラスキャッチャーを取り外します。
2. 上部ハンドルにあるノブを緩めて、ハンドルを下側に折り畳みます。(図 18)
3. 下側ノブを緩めます。
4. 本製品の左右にある溝の下端までノブを動かします。(図 19)
5. ハンドルを前側に折り畳みます。(図 20)

製品を操作位置にセットする方法

1. 下部ハンドルが操作位置にロックされるまでハンドルバーを持ち上げます。(図 21)

2. ノブをハンドル方向に、カチツと音がするまで上方に動かします。
3. ノブを完全に締め込みます。(図 22)
4. ハンドルバーの上部を持ち上げます。
5. ノブを完全に締め込みます。(図 23)

グラスキャッチャーの組み付け方法

1. グラスキャッチャーの上側部品をグラスキャッチャーの下側部品に取り付けます。(図 24)

2. グラスキャッチャーフレームをクリップで取り付けます。(図 25)
3. 後部カバーを持ち上げます。
4. グラスキャッチャーのフックをシャーシの上端に取り付けます。(図 26)
5. グラスキャッチャーの下部を芝の排出口に入れます。

操作

はじめに



警告：本製品を操作する前に、安全に関する章をお読みになり、内容を理解してください。

本製品を操作する前に

1. この取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握してください。
2. カutting装置を点検し、正しく取り付けられ、調整されていることを確認します。Cutting装置の点検方法 152 ページを参照してください。
3. 燃料タンクを充填します。燃料の充填方法 150 ページを参照してください。
4. オイルタンクにオイルを注入し、油面をチェックします。油面のチェックを行うには 152 ページを参照してください。

燃料の充填方法

使用可能な場合は、低排出 / アキレートガソリンを使用してください。低排出 / アキレートガソリンを使用できない場合は、高品質の無鉛プレミアムガソリンを使用するか、オクタン価が 90 以上の無鉛ガソリンを使用してください。



注意：オクタン価が 90 RON (87 AKI) 未満のガソリンは使用しないでください。本製品が損傷する場合があります。

1. 燃料タンクキャップをゆっくりと開いて、圧力を解放します。
2. 燃料缶を使用してゆっくり補充してください。燃料をこぼした場合は、布で拭き取り、残った燃料を乾燥させてください。
3. 燃料タンクキャップの周囲をきれいにしてください。
4. 燃料タンクキャップを完全に締め込んでください。燃料タンクキャップが締め込まれていない場合、火災発生の危険があります。
5. 始動する前に燃料を入れた場所から本製品を 3 m (10 フィート) 以上移動させてください。

刈高の設定方法

1. 刈高を高くするには、刈高レバーを後方に動かします。
2. 刈高を低くするには、刈高レバーを前方に動かします。(図 27)



注意：刈高を低く設定しすぎないでください。芝生の表面が水平でない場合、ブレードが地面に当たるおそれがあります。

本製品の始動方法

1. イグニッションケーブルがスパークプラグに接続されていることを確認してください。
2. 製品を初めて始動するときは、プライマバルブを 5 回押します。2 回目以降、エンジンが冷えているときに始動する場合は、プライマバルブを 3 回押しします。
3. 製品の後ろに立ってください。
4. エンジンブレーキハンドルをハンドルバーの方へ引きます。(図 28)
5. 右手でスターターロープハンドルを握ります。
6. 抵抗を感じるまで、スターターロープをゆっくりと引き出します。
7. 力を入れて引き、エンジンを始動します。



警告：スターターロープを手に巻き付けないでください。

ドライブホイールの使用方法 (LC 140S)

- ハンドルバーの方向にドライブペイルを押します。(図 29)
- 製品を後方に引く前に、ドライブを外し、製品を約 10cm 前方に押します。
- 障害物に近づいたときなどは、ドライブペイルを放してドライブを解除します。

本製品を停止するには

- ドライブのみを停止するには、ドライブペイルを解除します。

- エンジンを停止するには、エンジンブレーキハンドルを放します。

良好に芝を刈る方法

- 必ず鋭利なブレードを使用してください。ブレードが鈍っていると、刈り取りにばらつきが出て、芝の切口が黄ばみます。鋭利なブレードを使用すると、鈍いブレードを使用した場合より労力が少なくて済みます。

- 芝の長さの 1/3 以上刈らないでください。まず刈高を高く設定して刈ります。結果を確認し、必要なレベルまで刈高を下げます。芝がかなり長い場合は、ゆっくり運転し、必要に応じて刈り取り作業を 2 回行ないます。
- 1 回目と 2 回目は別の方向に向かって刈り、芝面に筋がつかないようにします。

メンテナンス

はじめに



警告： メンテナンスを行う前に、安全に関する章をお読みになり、内容を理解してください。

本製品のすべての整備と修理作業には、特別な訓練が必要です。当社では責任をもって専門的な修理と整備作業を提供します。お客様の販売店がサービス代理店でない場合は、最寄りのサービス代理店に関する情報をお問い合わせください。

メンテナンススケジュール

メンテナンス間隔は、本製品が毎日使用されることを前提に算出されています。本製品を毎日使用しない場合は、メンテナンス間隔が変わります。

「*」の付いているメンテナンスについては、「本製品の安全装置 148 ページ」を参照してください。

メンテナンス	毎日	毎週	毎月
一般点検の実施	X		
油面の点検	X		
製品の洗浄	X		
カッティング装置の点検	X		
カッティングカバーの点検*	X		
エンジンブレーキハンドルの点検*	X		
ドライブの点検と調整 (クラッチワイヤ)	X		
マフラーの点検*		X	
スパークプラグの点検		X	
オイルの交換 (最初は 5 時間の使用後、その後は 50 時間の使用ごと)			X
エアフィルターを交換			X
燃料システムの点検			X

一般点検の実施方法

- 製品のナットとネジが締め込まれていることを確認してください。

製品外部を洗浄するには

- ブラシで、葉、草、土を取り除いてください。
- エンジン上部の空気取り込み口が塞がれていないことを確認してください。
- 本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。

- 水を使用して製品を洗浄する場合は、エンジンに直接水をかけないでください。

カッティングカバーの内側の表面を清掃するには

- 燃料タンクを空にします。
- マフラーを下にして、製品を横向きに置きます。



注意： 製品にエアフィルターを取り付けている場合は、エンジンが破損することがあります。

- ホースを使ってカッピングカバーの内側の表面を水で洗浄します。

カッピング装置の点検方法



警告：誤って始動しないように、イグニッションケーブルをスパークプラグから取り外します。



警告：カッピング装置のメンテナンスを実施するときは、保護グローブを着用してください。ブレードは非常に鋭利なため、切り傷を負う危険性があります。

- カッピング装置に損傷やひび割れがないかどうか点検してください。損傷したカッピング装置は必ず交換してください。
- ブレードが破損していないか、鈍くなっていないかを確認してください。

注記：ブレードの目立て後は、ブレードのバランス調整が必要です。サービスセンターに依頼して、ブレードの目立て、交換、バランス調整を受けてください。製品が障害物に当たって停止した場合は、破損したブレードを交換してください。サービスセンターに依頼して、ブレードの目立てが可能かどうか、交換が必要かどうかを判断してもらってください。

ブレードの交換方法

- ブレードを木製ブロックでロックします。(図 30)
- ブレードボルトを取り外します。
- ブレードを外します。
- ブレードサポートとブレードボルトに破損がないかどうか点検します。
- エンジンシャフトが曲がっていないかどうか点検します。
- 新しいブレードを取り付けるときは、角度がついたブレードの端の部分をカッピングカバー方向に向けます。(図 31)
- ブレードがエンジンシャフトの中心と合っていることを確認します。
- ブレードを木製ブロックでロックします。スプリングワッシャーを取り付け、ボルトとワッシャーを 45-60 Nm のトルクで締め付けます。(図 32)
- 手でブレードを引き回して、引っかかりなく回転することを確認します。



警告：丈夫な作業用手袋を着用してください。ブレードは非常に鋭利なため、切り傷を負う危険性があります。

- 製品を始動してブレードのテストを実施します。ブレードが正しく取り付けられていない場合、製品に振動が発生するか、良好な刈り取り結果を得られません。

油面のチェックを行うには



注意：油面が低すぎると、エンジンが損傷することがあります。製品を始動する前に油面を点検してください。

- 本製品を水平面に置きます。
- オイルレベルゲージが付いているオイルタンクキャップを取り外します。
- オイルレベルゲージのオイルを拭き取ります。
- 油面の正しい状況を知るには、オイルタンクにディップスティックを完全に入れます。
- オイルレベルゲージを外します。
- オイルレベルゲージで油面を点検します。
- 油面が低すぎる場合は、エンジンオイルを充填し、もう一度油面をチェックします。

エンジンオイルを交換するには



警告：エンジンの停止直後は、エンジンオイルが非常に高温になっています。エンジンオイル排出前にエンジンを冷ましてください。エンジンオイルが皮膚に触れた場合は、石鹸と水で洗ってください。

- 燃料タンクが空になるまで、製品を運転してください。
- スパークプラグからイグニッションケーブルを取り外します。
- オイルタンクキャップを取り外します。
- エンジンオイルを収集するために製品の下にコンテナを置きます。
- オイルタンクからエンジンオイルを抜き取るために製品を傾けます。
- 主要諸元 154 ページで推奨されているタイプの新しいエンジンオイルを充填します。
- 油面をチェックします。油面のチェックを行うには 152 ページを参照してください。

エアフィルター

長期間使用したエアフィルターの汚れを完全に除去することはできません。定期的にエアフィルターを交換します。

注記：破損したエアフィルターは必ず交換してください。

発泡プラスチックフィルターを清掃するには

- エアフィルターカバーを取り外して、発泡プラスチックフィルターを取り出します。
- 石鹸と水で発泡プラスチックフィルターを清掃します。
- きれいな水で発泡プラスチックフィルターを洗い流します。

4. 発泡プラスチックフィルターの水を絞り、乾燥させます。



注意：圧縮空気を使用しないでください。発泡プラスチックフィルターが破損するおそれがあります。

5. 発泡プラスチックフィルターにエンジンオイルを注油します。
6. 清潔な布で、発泡プラスチックフィルターの不要なオイルを拭き取ります。
7. エアフィルターを再び取り付けます。エアフィルターとエアフィルターホルダーとの間に隙間ができないようにしてください。
8. エアフィルターカバーを再び取り付けます。

スパークプラグを点検するには



注意：必ず、推奨されている種類のスパークプラグを使用してください。スパークプラグの種類が間違っていると、本製品が破損するおそれがあります。

- エンジンのパワーが出ない、なかなか始動しない、またはアイドリング速度で適切に動作しない場合は、スパークプラグを点検します。
- スパークプラグ電極に異物が付着するリスクを下げるには、次の手順に従います。
 - a) アイドリング速度が正しく調整されていることを確認します。
 - b) 適切な燃料混合物を使用していることを確認します。
 - c) エアフィルターに汚れないことを確認します。

- スパークプラグが汚れていたら、きれいにしてから電極ギャップが適切であることを確認します。主要諸元 154 ページを参照してください。(図 33)
- 必要に応じてスパークプラグを交換します。

燃料システムを点検するには

- 燃料タンクキャップと燃料タンクキャップのシールを確認し、破損していないことを確認します。
- 燃料ホースを点検し、漏れがないことを確認します。燃料ホースが破損している場合は、サービス代理店に交換を依頼してください。

クラッチワイヤを調整するには

ドライブの速度が遅い場合は、クラッチワイヤを調整する必要があります。

1. クラッチワイヤをドライブペールの別の穴に取り付けて、クラッチワイヤの長さを調整します。クラッチワイヤの長さを短くすると、ドライブの速度が上がります。クラッチワイヤを伸ばすと、ドライブの速度が下がります。(図 34)

注記：ドライブのペールを引っ張っていないときにドライブが作動している場合は、クラッチワイヤを伸ばす必要があります。

2. ドライブの速度を微調整するには、調整ネジを回します。ドライブの速度を上げるには、調整ネジを反時計方向に回します。ドライブの速度を下げるには、調整ネジを時計方向に回します。(図 35)

調整後もドライブの速度が遅い場合は、認定されたサービス代理店にドライブベルトの交換を依頼してください。

搬送、保管、廃棄

搬送と保管

- 本製品と燃料を保管、搬送する場合は、漏れや煙がないことを確認してください。電気装置やボイラーなどからの火花や裸火により、火災が発生する場合があります。
- 燃料を保管、搬送する場合は必ず、認証されたコンテナを使用してください。
- 本製品を長期間、保管場所に入れる場合は、燃料タンクを空にしてください。燃料は適切な廃棄場所に廃棄してください。
- 搬送中は本製品を安全に接続して、損傷や事故を防止してください。
- 本製品は鍵のかかる場所に保管して、子供や許可を得ていない人が近づけないようにしてください。

- 本製品は、乾燥した霜の降らない場所に保管します。

廃棄

- 地域のリサイクル要件および適用される法規に従ってください。
- すべての化学物質（エンジンオイルや燃料など）はサービスセンターまたは適切な廃棄場所に廃棄してください。
- 本製品が不要になった場合は、Husqvarna 販売店に送付するか、リサイクル施設で廃棄してください。

主要諸元

主要諸元

	LC 140	LC 140S
エンジン		
ブランド	ブリッグス・アンド・スト ラットン	ブリッグス・アンド・スト ラットン
排気量、cm ³	125	125
回転速度、rpm	2900±100	2900±100
公称エンジン出力、kW ⁵³	1.8	1.8
イグニションシステム		
スパークプラグ	Champion QC12YC	Champion QC12YC
電極ギャップ、mm	0.5	0.5
燃料および潤滑システム		
燃料タンク容量、リットル	0.8	0.8
燃料タンク容量、リットル	0.5	0.5
エンジンオイル	SAE 30	SAE 30
重量		
燃料タンクが空の場合 (kg)	24.5	27
騒音排出⁵⁴		
音響パワーレベル、測定値 dB (A)	94	94
音響パワーレベル、L _{WA} dB (A) により保証	94	94
音量レベル⁵⁵		
使用者の耳における音圧レベル (dB (A))	80	80
振動レベル⁵⁶		
ハンドル、m/s ²	9.4	9.4
鋸断		
刈高、mm	25-75	25-75
切削幅 (mm)	40	40
カッター	収集タイプ	収集タイプ

⁵³ 表示エンジンの電気定格は、(指定 rpm での) 平均実質電気出力で、SAE 基準 J1349/ISO1585 で測定したエンジンモデル向けの一般生産エンジンに対応しています。大量生産用エンジンは、この値と異なることがあります。最終製品で据え付けたエンジンの実際の電気出力は、運転速度、環境状態およびその他の値によって異なります。

⁵⁴ 環境における騒音の排出は、EC 指令 2000/14/EC に従って、音響パワー(L_{WA})として測定。

⁵⁵ 報告データによれば、騒音音圧レベルの一般的な統計上のばらつき (標準偏差) は、1.2 dB (A) です。

⁵⁶ 報告データによれば、等価振動レベルの一般的な統計上のばらつき (標準偏差) は、0.2 m/s² です。

	LC 140	LC 140S
製品番号	5873863-10	5873863-10
グラスキャッチャーの容量、リットル	50	50
ドライブ		
速度、km/h	-	4.0

EC 適合性宣言

EC 適合性宣言

Husqvarna AB、SE-561 82 Huskvarna、スウェーデン、電話：+46-36-146500 は、製造番号が 14xxxxxxx 以降の Husqvarna LC 140 および LC 140S が、評議会指令 (COUNCIL'S DIRECTIVE) の規定に適合していることを宣言します。

- 2006 年 5 月 17 日付「機械類に関する」
2006/42/EC
- 2014 年 2 月 26 日付「電磁波適合性に関する」
2014/30/EU
- 2000 年 5 月 8 日付「環境への騒音排出に関する」
2000/14/EC

騒音排出に関する情報は、主要諸元を参照してください。

次の標準規格にも適合しています。

ISO 5395, ISO 11094, EN 55012

別途記載のない限り、上記規格が最新版です。

試験機関： **0404, SMP Svensk Maskinprovning AB, Box 7035, SE-750 07 Uppsala** 0404, RISE SMP Svensk Maskinprovning AB, Box 7035, SE-750 07 Uppsala は、2000 年 5 月 8 日付の「周囲への騒音排出に関する」評議会指令 2000/14/EC の補足 VI に対する適合性の評価に関する報告書を発表しました。

証明書の番号： 01/901/226

Huskvarna, 2014-05-19



開発マネージャー / ガーデン製品担当 Claes Losdal (ハスクバーナ AB 正式代表兼技術文書担当)



www.husqvarna.com

Original instructions
Оригинални инструкции
Původní pokyny
Originale instruktioner
Originale anweisungen
Αρχικές οδηγίες
Instrucciones originales
Originalaalljuhend
Alkuperäiset ohjeet
Instructions d'origine
Originalne upute
Eredeti útmutatás
Istruzioni originali
取扱説明書原本
Originalios instrukcijos

Lietošanas pamācība
Originele instructies
Originale instruksjoner
Oryginalne instrukcje
Instruções originais
Instruções originais
Instrucțiuni inițiale
Оригинальные инструкции
Pôvodné pokyny
Izvirna navodila
Originalna uputstva
Bruksanvisning i original
Orjinal talimatlar
Оригинальні інструкції

1157946-38



2018-10-08